科目名	専門演習 II Seminar II									
科目担当者	本日	本田 信雄 HONDA Nobuo								
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	演	習	開講学期		通年	
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×				•	ディプロマポリシ ーとの関連 (3)(4			(3)(4)	
授業の概要	れと	専門演習Ⅱでは、証券投資に関して、その基礎的・応用的な内容を取り上げる。また、これと並行して、レポートや論文の作成方法についても学んでいく。特に後期からは、卒業論文の準備(テーマ決定、資料収集、論文の概説作成等)およびその作成に取り掛かる。								
授業の到達目標	2 i 2 i 3 f	①前期は、証券投資に関する内容について学び、また株式市場のメカニズムについて理解する。 ②レポートや論文の作成方法について理解し、実際に作成する。 ③後期は、卒業論文のテーマを決定し、資料収集や概説を作成した後、実際に論文作成を行なっていく。								
授業計画・内容	1	1 年間のゼミについての説明 (予定・内容等)			16	後期内容についての説明				
	2				17	卒業論文作成指導①(卒論についての説明)				
	3	3 証券投資の基礎と応用②(ファンダメンタル分 15、			18	卒業論文作成指導②(卒論についての説明、テーマ について考える)				
	4	→ 析) 4 証券投資の基礎と応用③ (テクニカル分析)			19	卒業論文作成指導③(テーマ決定)				
	5				20	卒業論文作	卒業論文作成指導④(資料収集、目次作成)			
	6	6 証券投資の基礎と応用⑤ (割安株・割高株)				卒業論文作成指導⑤(資料収集、目次作成)				
	7	7 株式市場のメカニズムについて①(ランダム・				卒業論文作成指導⑥(卒論概説作成)				
	8	ウォークと効率市場仮説) 株式市場のメカニズムについて②(過去のバブルとその崩壊)			23	卒業論文作成指導⑦(卒論概説作成と確認)				
	9				24	卒業論文作成指導⑧(卒論作成)				
	10				25	卒業論文作成指導⑨(卒論作成)				
	11	1 レポート作成指導③(作成)			26	卒業論文作成指導⑩(卒論作成)				
	12	2 レポート作成指導④(途中経過確認)			27	卒業論文途中経過確認①				
	13	13 レポート作成指導⑤ (作成)				卒業論文途中経過確認②				
	14	11774114 3 (44)				卒業論文途中経過提出				
	15 前期のまとめ、後期内容についての説明				30	来年度のゼミ予定について				
授業外学修 (事前学修)	「配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく(毎週 2 時間)」 「レポート作成のための準備(毎週 1 時間)」									
授業外学修 (事後学修)	レカ	レポート作成(前期 15 時間、後期 15 時間)								
NAME OF TAXABLE PARTY.			成績評価	方法			評価比率	到這	達目標との対応	
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応		ゼミへの取り組み 前期レポート、卒論途中経過提出				709 309		①2 ②3		
成績評価基準	優:	秀: (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優: (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良: (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可: (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可: (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合								
教科書	必要	必要に応じて資料を配布する								
参考文献										
その他										